

少子化対策提言コンテストin三高

- ・公共で学んだことやRESASを用いて地域の少子化について対策提言を作成する。
- ・班ごとに活動しスライドを作成して最終回にプレゼンを行う。

1. ロジックツリー作成

自治体を任意で選定

個人⇒班で活動



2. スライド作成

データ収集と分析

班で活動



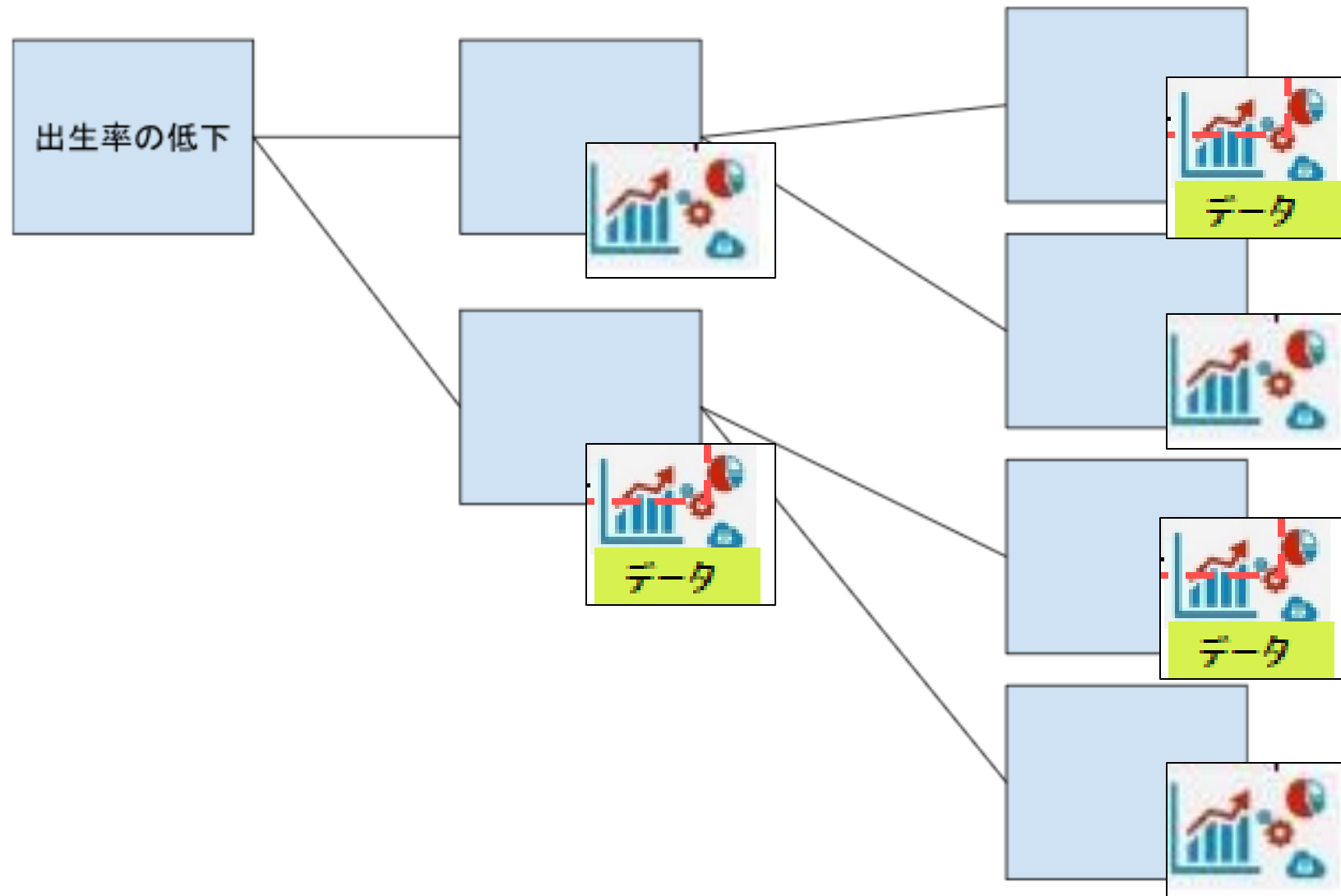
3. プレゼンテーション

少子化対策の提言作成

班で活動

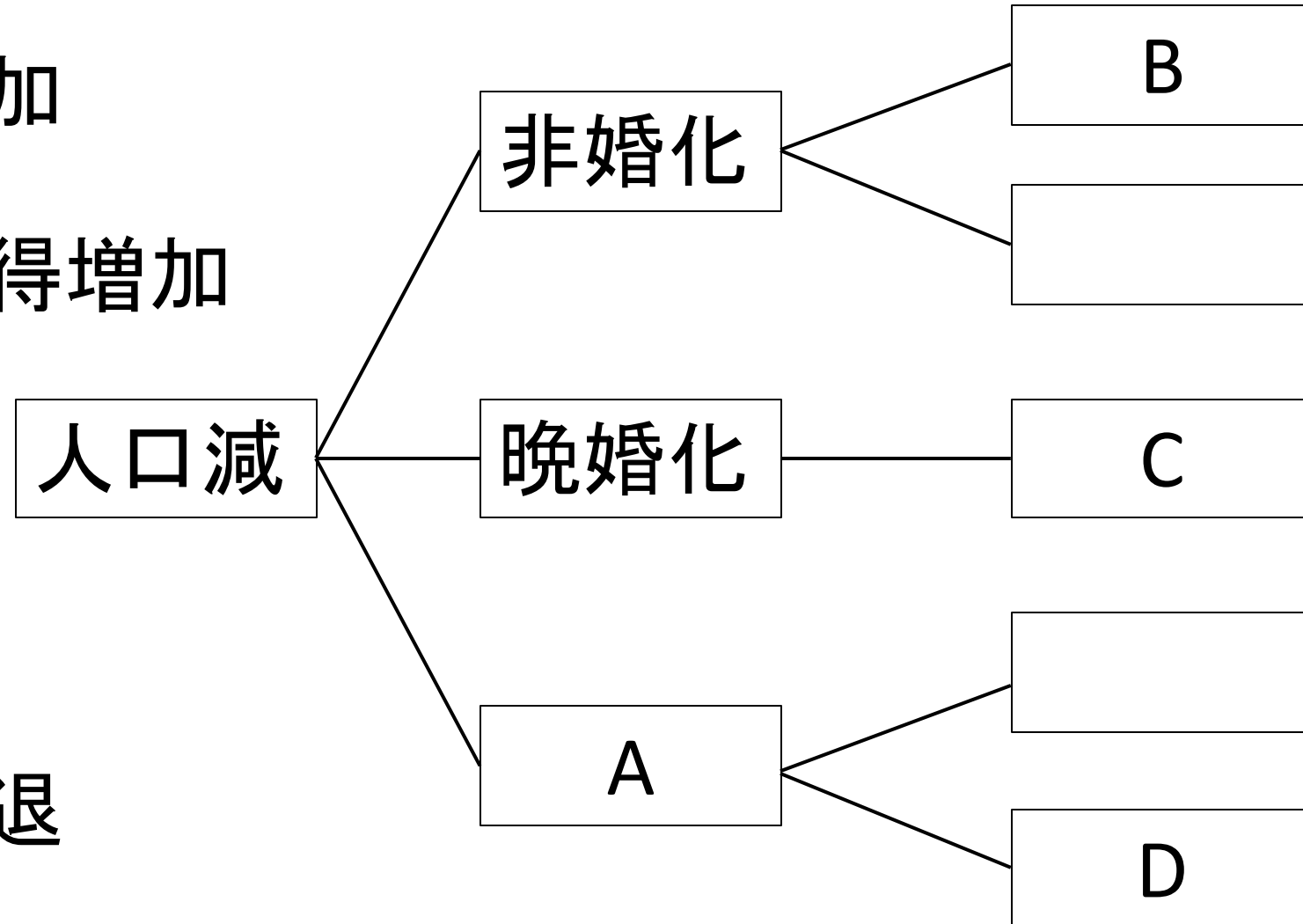
選んだ地域		
県		市・町
項 目	内 容(データからわかること)	RESAS操作等
①地域の人口の推移は？	人口推移の推移は？	人口マップ>人口構成>人口推移
②人口ピラミッドの構造の変化は？	人口ピラミッドの構造の特徴は？	人口マップ>人口構成>人口ピラミッド
③社会増減・自然増減 地域の人口が増減する要因は？	出生数・死亡数／転入数・転出数から読み取れることは？ 自然・社会増減の推移からわかることは？	人口マップ>人口増減>グラフを表示
④地域の転入転出の状況は？	From-to分析(定住人口)からどの地域に転入出しているでしょうか？ 年齢階級別順移動数の推移から年代ごとの人口移動の特徴は？	・人口マップ>人口の社会増減>From-to(定住人口) ・人口マップ>人口の社会増減>人口移動(グラフ分析)

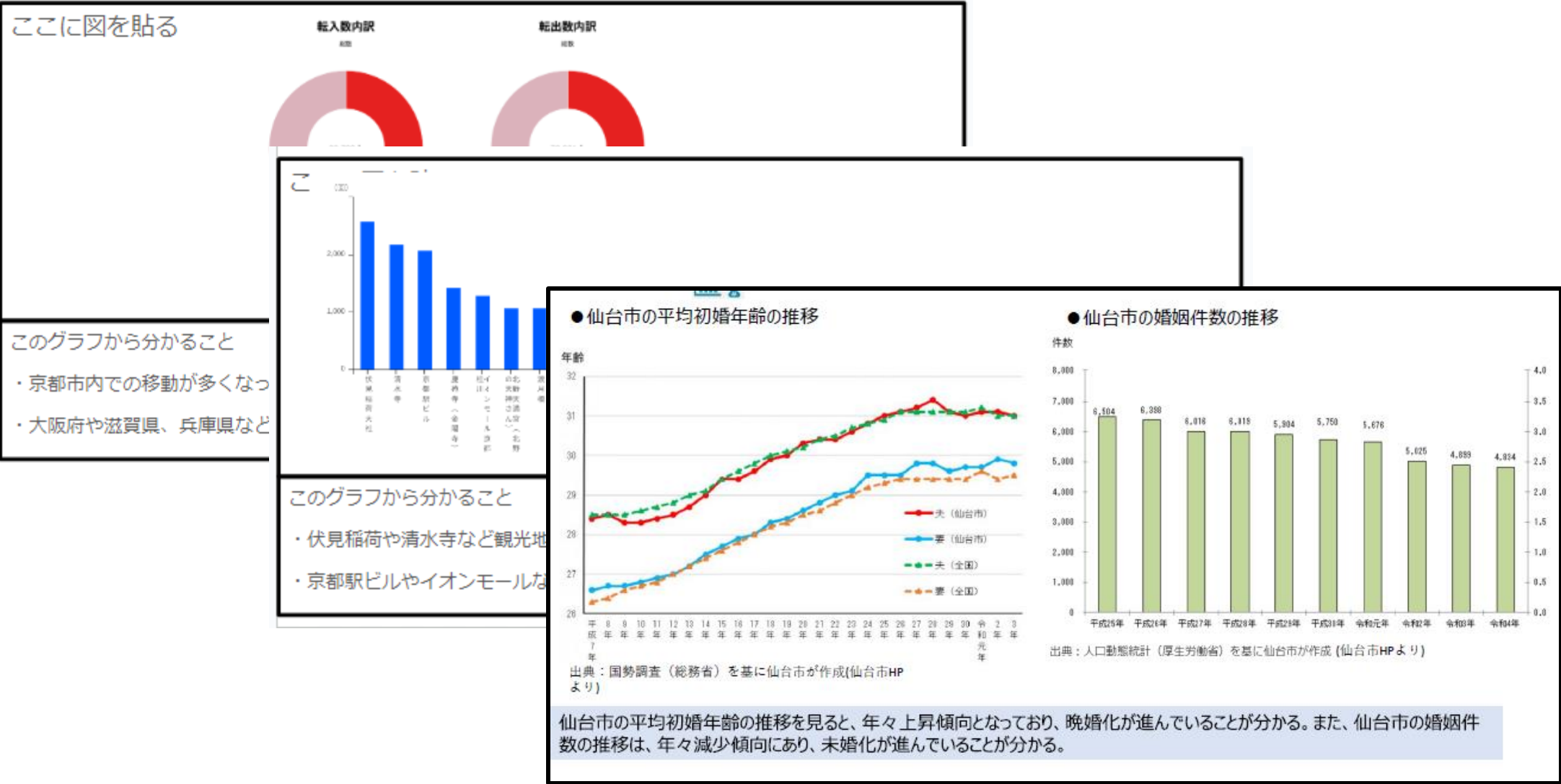
選定した自治体の基礎データをまとめる。主にRESASを活用する。



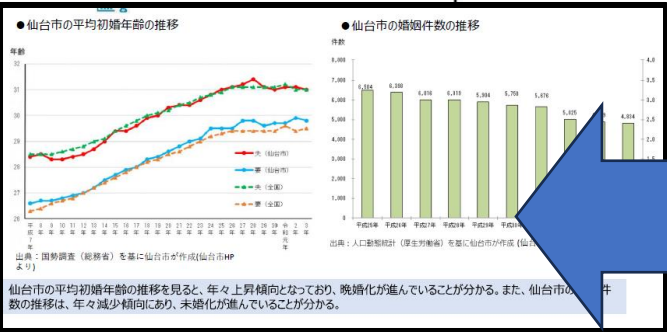
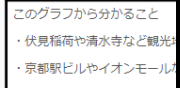
自治体における少子化の原因を書き出し、それぞれの現状を裏付けるデータを収集する。

- ・転出者数の増加
- ・就労女性の所得増加
- ・観光客の減少
- ・地元産業の衰退





データが収集できた要素一つについてスライド1枚にまとめていく。



少子化対策に向けた取り組み（地域少子化対策重点推進交付金の活用事業）

仙台市では、国の少子化対策重点推進交付金を活用し、結婚・妊娠・出産・乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に向けて、令和5年度に以下の事業を行います。

少子化社会における仕事と家庭の両立支援事業

× × 市の少子化対策に対する提言

スライドでまとめた少子化要因について、自治体の施策実施状況と照らしながら自治体の施策をチェック・評価し、提言を作成する。

1. 本時の活動

- ① 個人による対象自治体の候補選定
- ② 4人班を組み、探究対象地域を1つ決定

対象地域の条件

- ・自治体は市区町村単位とする。
（「宮城県」という設定は不可）
- ・人口減の傾向にあることを条件とする。
人口減の傾向とは、RESASの人口構成折れ線グラフを基準として、1980年から2045年までの期間でグラフが右下がり傾向であることとする。
（富谷市などは不可ということ）
- ・自分に縁のある自治体でもそうでなくとも構わない。



2. 本時の活動

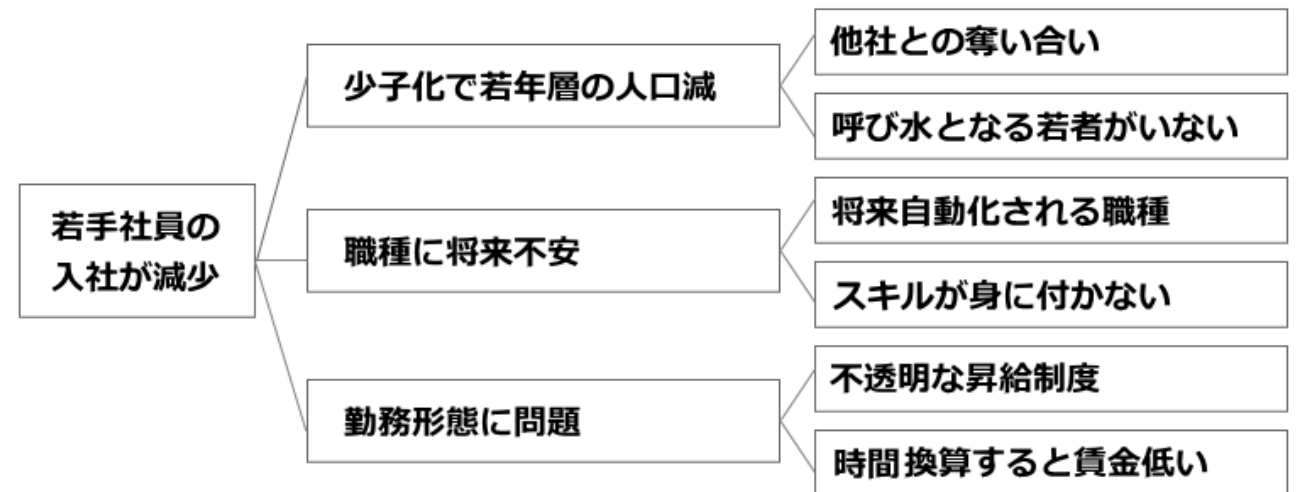
- ① 各自で「少子化」をテーマにマインドマップを作成
- ② 4人班を組みロジックツリーの形にまとめる

備考

- ・自治体ごとの独自要因がないか考えてみる
- ・早い班はそれぞれの要因についてデータの有無の確認まで進める。
- ・次回はツリーに基づいて各データをスライドにまとめる

フレームワーク ロジック ツリー Logic Tree

テーマ『若手不足』

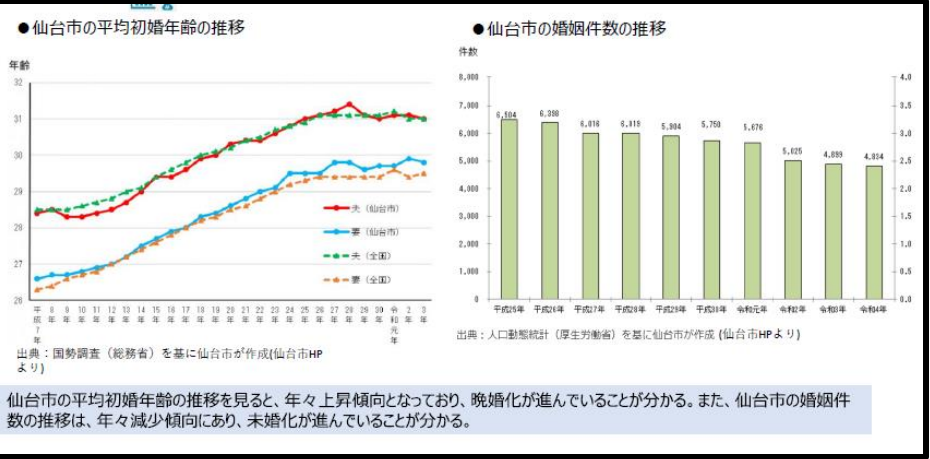
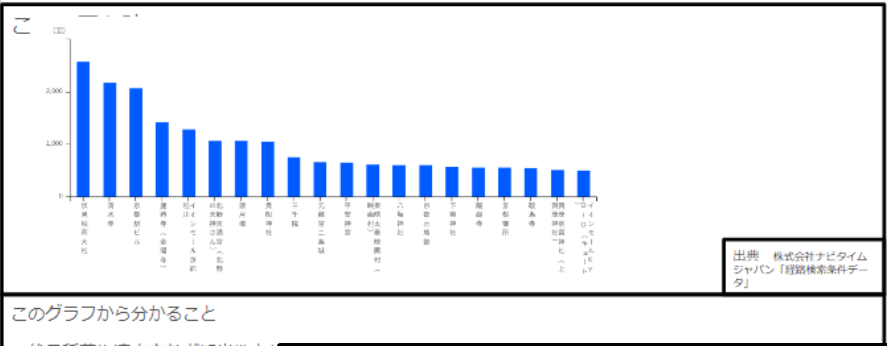
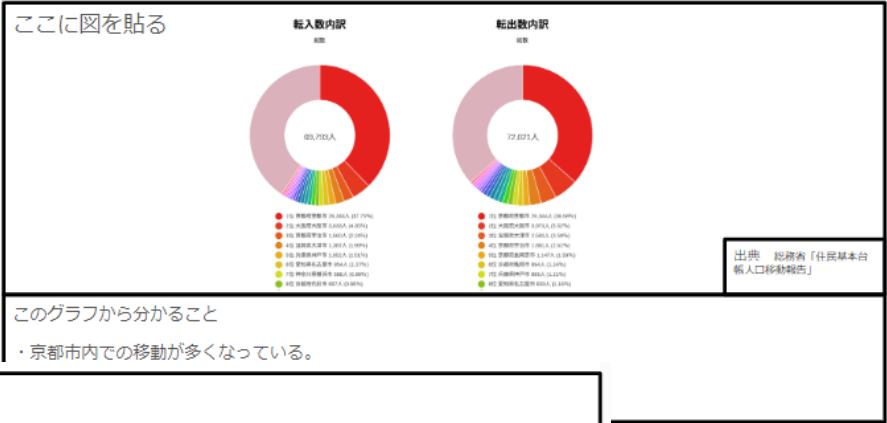


3. 本時の活動

- ① ロジックツリーの補強・完成
- ② スライドの構成検討・役割分担
- ③ スライド作成

備考

- ・ロジックツリーは引き続き、補強し完成させること。
最終的にスライドにも掲載して発表するので色分けや線つなぎなど工夫できる部分は工夫すること。



4. 本時の活動

- ① ロジックツリーの完成
- ② スライドの完成
- ③ 発表練習

備考

- ・ 次回の発表の流れ
- ・ 10班を3グループに分け、発表グループ以外はどこかの班の発表を聞くこと。
 - Aグループ 1・4・7・10班
 - Bグループ 2・5・8班
 - Cグループ 3・6・9
- ・ 発表5分 質疑3分
- ・ Googleスライド(各自のタブレット) ロジックツリー(印刷したものを渡します)

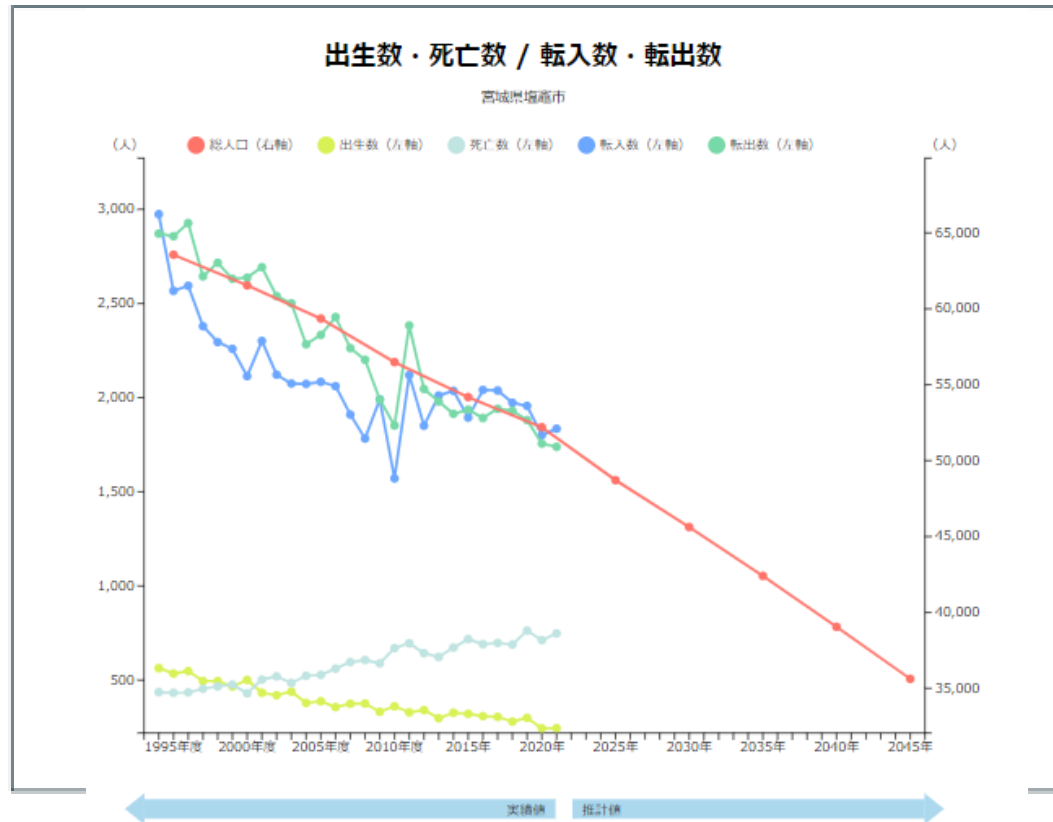
5. 発表の流れ

- 発表5分 質疑3分
- 生徒準備物
 - Googleスライド(各自のタブレット)
 - ロジックツリー(印刷したもの)
- 発表順
 - ① 1・4・7・10班 ② 2・5・8班 ③ 3・6・9班
- 備考
 - 少子化の原因をどう捉えたか(ロジックツリー)
 - 自治体の基本的な人口動態はどうなっているか(RESAS)
 - 自治体の施策はどう評価できるか

黒板



● 基礎データ 自然増減・社会増減の特徴



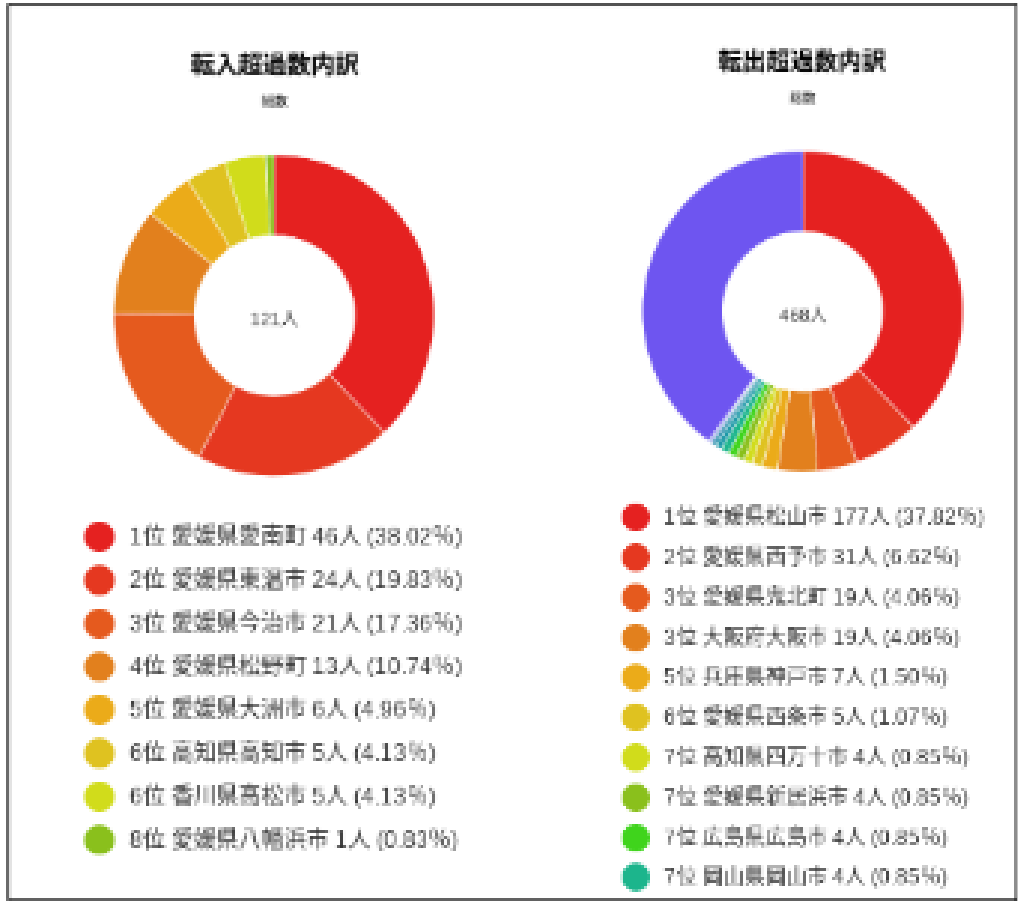
補足指示(1)

● 基礎データ

自然増減・社会増減の特徴

のスライドには、「出生数・死亡数/転入数・転出数」の折れ線グラフを必ず含めてください。既に他の特徴的なグラフをまとめた班については、そのスライドを消す必要はありません。

● 基礎データ 転入・転出状況



補足指示(2)

● 基礎データ
転入・転出状況
のスライドには、左のように円グラフを
必ず含めてください。

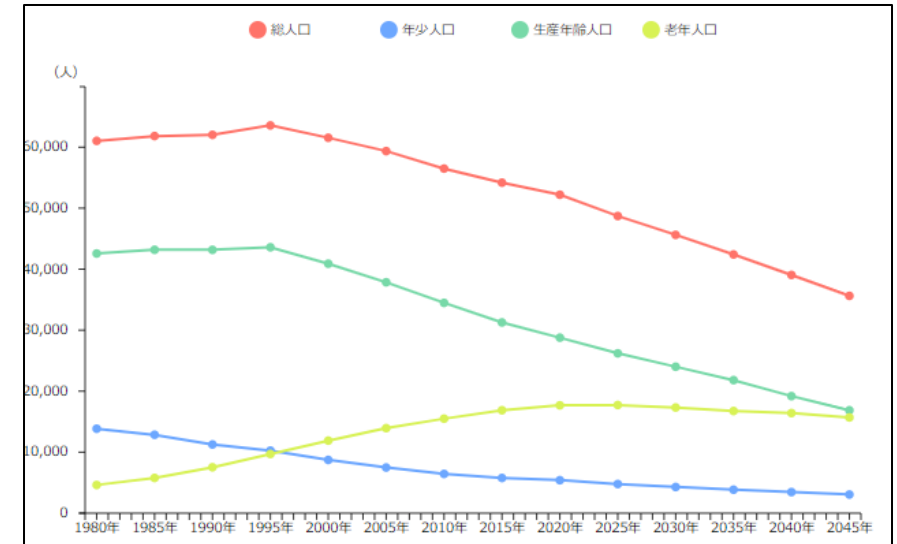
補足指示(3)

グラフから読み取れること
の表現にも気を配ってみてください。
例えば右のグラフの状況に最も適する
表現は何だと考えますか。

- ・総人口が
- ・年少人口が
- ・老年人口が

- ・1980年から
- ・1995年から
- ・2000年から

- ・減少している。
- ・漸減している。
- ・急減している。



- ・変化はない
- ・維持されている。
- ・微減・微増している。

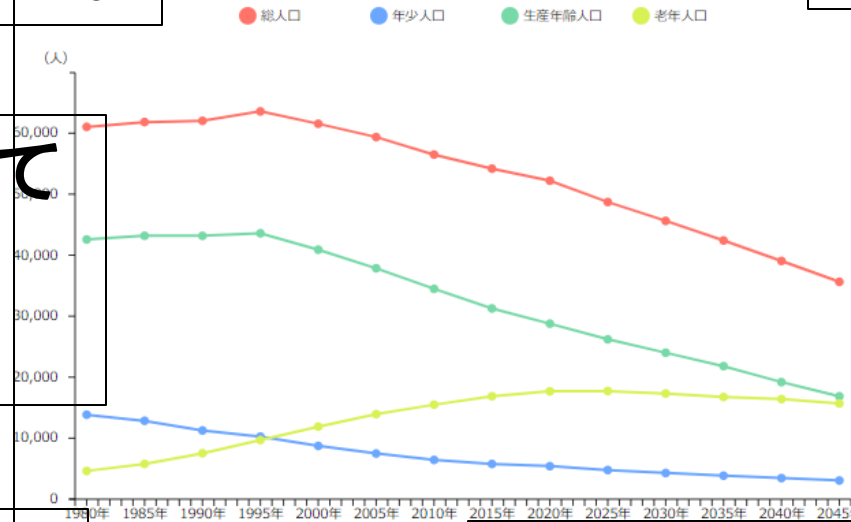
- ・3分の1になる。
- ・約半分になる。
- ・100人を下回る。

- ・XX年からXX年にかけて
- ・XX年からXXの間のみ
- ・XX年から一貫して

- ・最も多いのは
- ・最も少ないのは
- ・すべてが/一部が

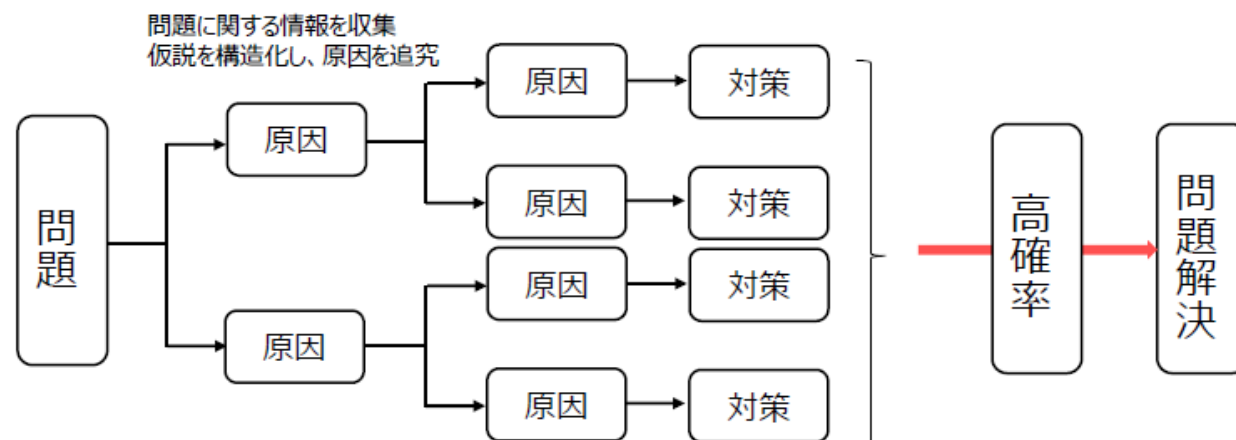
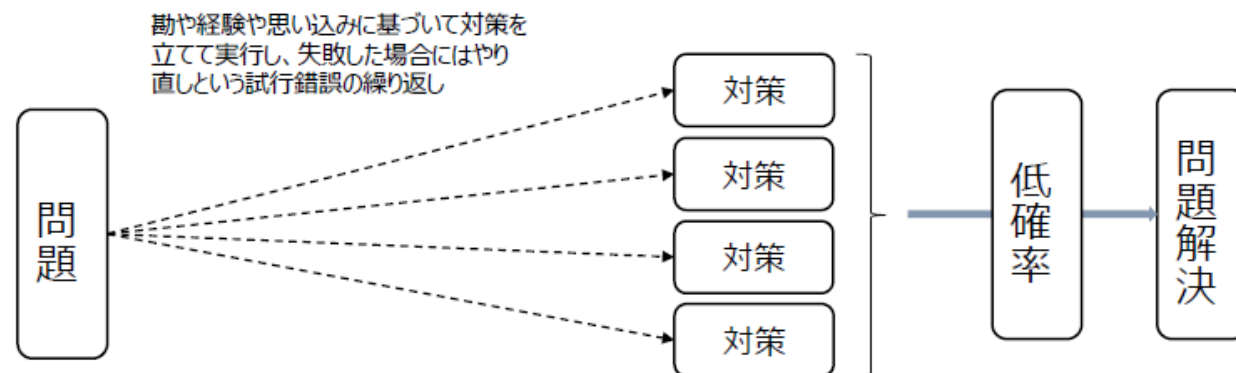
- ・最高値/最低値
- ・平均値/中央値
- ・標準偏差

- ・減少が読み取れる。
- ・少子高齢化を示している。
- ・子育て支援の乏しさが要因である。



情報 × 公共 × 探究 RESASを用いた政策提案

仮説を立てることの重要性

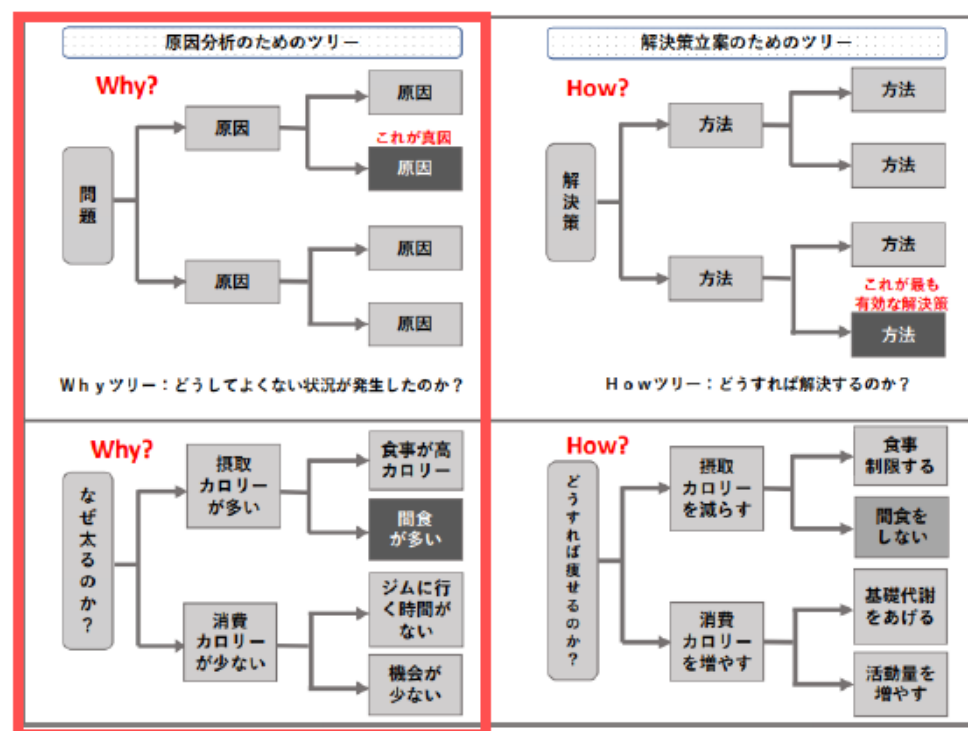


出典:地方創生RESAScasestudy_内閣府RESAS専門委員 松浦義昭

情報×公共×探究 RESASを用いた政策提案

仮説を構造化→検証するデータを収集→分析評価

② 課題の分析・・・課題の構造化：ロジックツリーのタイプ



出典：地方創生 RESAS Case Study =国内観光編= 内閣府RESAS専門委員 松浦 義昭

情報 × 公共 × 探究 RESASを用いた政策提案

